

## 令和7年度 第3回 大阪市立矢田東小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立矢田東小学校

校長名 梶原 進

日時	令和8年3月10日(火) 18:45~20:00	
場所	大阪市立矢田東小学校 校長室	
出席者	委員 など	岡部典方(矢田東小PTA会長) 樋口和弘(矢田中校長) 酒井博文(住道矢田連合町会長) 青野清美(社会福祉協議会) 鞠谷富貴子(主任児童委員)
	学校	梶原進(学校長)・池田真弘(教頭)
	区役所	奥野貴史(保健福祉担当課長代理)
議題	(1) 創立55周年記念品について (2) 運営に関する計画(最終評価)について (3) 学校アンケート(2回目)結果について (4) 大阪市学力経年調査の結果について (5) 全国体力・運動能力習慣等調査の結果について (6) 令和8年度年間行事予定について	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	<p>本年度第3回学校協議会を開催し、上記の議題についての報告ならびに委員との意見交換を行った。</p> <p>創立55周年記念行事については、児童および教職員等へ記念ファイルを配付するとともに、正門付近フェンスに設置する記念横断幕のデザインやメッセージを児童から募集し、6年生の作品を採用したことを報告した。</p> <p>学校運営に関する計画の評価では、安全・安心な教育の推進、学力・体力の向上、教育環境の充実の各観点から現状を報告した。学力経年調査については市平均と比較してやや低い結果ではあるものの、差は縮小傾向にあり、基礎的内容の定着が進んでいることを説明した。また、思考力や応用力の育成が今後の課題であることを共有するとともに、ICT機器の活用や教職員の働き方改革の取組状況についても説明した。</p>	<p>委員からは、基礎学力の定着に向けた学校の取組について一定の評価が示されるとともに、小学校段階で身に付けた基礎的な学力を中学校へつなげていくことの重要性について意見が出された。また、学校評価の基準の在り方や、教職員の働き方改革の取組状況についても質問や意見があった。これらの意見を踏まえ、学校としては、これまでの取組により基礎学力の定着は一定程度進んでいると捉えているものの、今後は思考力や応用力の育成を重視した授業改善を進めるとともに、学習活動の充実を図っていく必要があるという意見交流があった。</p> <p>今後も家庭・地域と連携を図りながら、児童が安心して学び主体的に学習に取り組むができるように、今回出された意見を今後の学校運営および教育活動の改善に生かしていくことを確認した。</p>
協議 資料	(1) 創立55周年記念品(クリアファイル) (2) 令和7年度「運営に関する計画」(最終評価) (3) 学校アンケート(児童用・保護者用)の2回目集計結果 (4) 大阪市学力経年調査の結果 (5) 全国体力・運動能力等調査の結果 (6) 令和8年度年間行事予定(案) (7) 次年度 学校協議会委員 承諾書	
備考	傍聴者[ 0 ]名	